

《東日本大震災で被災された皆様へ》

このたびの東日本大震災で、お亡くなりになられた方々に対して、心からのお悔やみを申し上げるとともに、被災された方々には、心からのお見舞いを申し上げます。

交通信号工事士認定制度がテイクオフ

交通信号施設工事に従事する人材の育成と専門能力の向上を目的に創設した、「交通信号工事士」を認定する「交通信号工事士技能検定」が過日実施されました。

ごあいさつ

理事長 丹下 正彦



(元警察庁情報通信局長)

全信工第2種交通信号工事士技能検定試験が6月15日盛岡会場を皮切りに6月25日東京会場まで7会場で実施され、無事終了することができました。

これは、ひとえに皆様のご尽力の賜物と感謝しております。

会場でもお願いしたところではありますが、この検定制度は、工事を標準化するとともに、優秀な人材を育成することにより、このたびの東日本大震災のような異常事態においても全国的な支援体制を可能とすることが目的なのです。

そのためには、協会活動をより全国的に拡大し、当協会が認定する資格の意義が社会的に認められるよう努力しなければなりません。

それに加え、平成23年4月に制定した、コンプライアンス規程を遵守することにより、より信頼される協会となることができます。

協会各員のより一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

検定受験状況

信号工事士技能検定受験状況

No	実施年月日	時間	会場	受験者
1	23. 6. 15	13～17	盛岡会場(アイーナいわて県民情報交流センター)	89
2	23. 6. 17	13～17	札幌会場(北農健保会館)	27
3	23. 6. 20	13～17	名古屋会場(名古屋中小企業福祉会館)	110
4	23. 6. 21	13～17	大阪会場(大阪府福祉会館)	73
5	23. 6. 22	13～17	広島会場(広島市南区民文化センター)	68
6	23. 6. 23	13～17	長崎会場(長崎勤労福祉会館)	79
7	23. 6. 25	9～17	東京会場(ラ・ベルオーラム)	379
合計				825

検定風景

盛岡会場



札幌会場



名古屋会場



大阪会場



広島会場



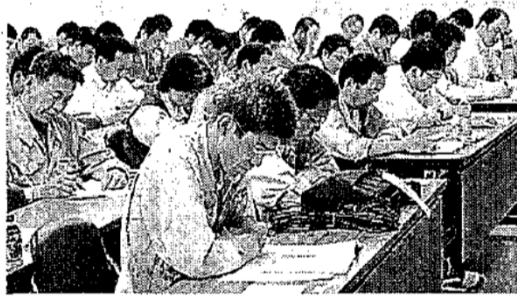
長崎会場



東京会場



長崎新聞 平成23年6月24日付



交通信号の工事に携わる人の知識や技術などの能力を認定する新資格「交通信号工事士」の検定試験が23日、長崎市



交通信号の工事に携わる人の知識や技術などの能力を認定する

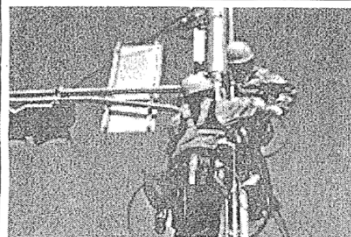
内で行われ、九州各地の施工業者79人が受験した。写真。真。

○資格を認定する全国交通信号工事技術普及協会によると、交通信号の工事では、車の円滑な流れを保ちながら工事を進めるため、電気、通信、土木などの幅広い知識が必要。「工事士」制度は施工者のレベルアップにつなげようと本年度創設された。

○工事技術や法律など3時間の講習会の後、筆記試験を実施。9月末予定の合格発表で受験者を待っているのは青信号？ それとも赤信号？

(永野孝)

平成23年6月28日付日刊工業新聞



新規参入事業者などによる工事事故が増えている

信号機施工900人が受験

全国交通信号工事技術普及協会（東京都台東区、丹下正彦理事長、03・3835・1740）は、交通信号機を施工する技術者の資格制度を導入した。15・25日に全国7会場で約900人が受験した。交通信号の工事をめぐっては、高度な技術力のある事業者が廃業する一方で新規参入が相次ぎ、工事の事故などが増えている。資格制度の導入で工事の安全性や品質向上を目指す。

同協会は、交通信号機工事の専門業者が約130社が加盟する一般社団法人。新たな資格制度「交通信号工事士」には電気と通

全信工協会、新資格制度を導入

信、土木、交通信号の各工事の施工技術と道路交通法や労働安全衛生法などの法律、交通工学などの総合的な習得が求められる。主な受験資格は実務経験2年以上。約2時間半の講習と筆記試験が課される。

交通信号機工事は各都道府県の警察本部が指名入札で施工業者を選定。入札には電気工事士や電気工事施工管理技士の資格があれば参加できる。同協会によると、交通信号機工事は景気低迷の影響もあり、約10年前から通信工事業者の新規参入が増加したという。実際の施工現場は交通量も多く、狭いスペースで工事が求められるなど「施工技術以外に固有のノウハウが必要」（永野雄造監事）という。

同協会は協会独自の認定にとどまる新資格制度を今後、各地の警察本部の公認が得られるように働きかける。また、交通信号機を施工するためのハンドブックを作成。技術講習会を開催するなど教育制度も充実させる。同工事をめぐっては、これまで業界横断的な教育が不足し、教員も各社が独自に行ってきた。新入社員確保や技能継承の意味でも教育制度の確立が求められているという。

平成23年7月6日付建通新聞(東京版) 神奈川、中部、大阪、香川、徳島、愛媛、高知版でも掲載



「交通信号工事士」試験 7都市で約850人が受験

9月末までに結果発表

全国交通安全信号工事技術普及協会（丹下正彦会長）は6月25日、交通信号機施工にかかわる新しい認定資格「第2種交通信号工事士」の検定試験を実施した。写真。

試験は、東京のほか名古屋や大阪、広島など全国7都市で実施。約850人が受験している。当日は、オムロン・ビルドエンジニアリング（目黒区）で交通安全施設の設置や維持管理などに従事した坂東善行氏が講師を担当。施工技術や法規などを講義した後、筆記試験を実施した。9月末までに試験結果を発表する。

今回は第2種の試験だが、知識や経験が求められる。2016年度までに第1種交通信号工事士を施行する予定。交通信号機工事には電気、通信、土木など幅広いや、工事従事者の確保と「施工技術や教育」を目指す。

その他
建設新聞(北海道、長崎)に掲載

アンケート結果

試験会場で受験者の方にご協力いただきましたアンケート結果を要約しました。

- 1 今年度、交通信号施設工事に関する技術・技能の向上を目的とした講習を計画しています。内容についてのご要望をお聞かせください。
 - 他県の工法等を知りたい。
 - 新しい技術、材料を知りたい。
 - 機器に対する知識、運用に対する知識を得たい。
 - 講習内容の検討(実技、ディスカッション等)
- 2 本日使用した「交通信号工事士技能検定講習教本」及び「講習の内容」について、ご質問、ご意見がございましたらお聞かせください。
 - 講習内容がよく、資料も今後の参考となる。
 - 講習時間をもっと長く、交通工学をもっと聞きたかった。
 - 実技中心に講習を進めてはどうか
 - 写真、図を取り入れればよりわかりやすいのでは

ご案内

平成23年度 交通信号工事技術講習会・資格更新対象者講習会の開催について
交通信号工事に従事する人材の育成と専門能力の向上を目的とした講習会を下記のとおり開催します。

No	会場	開催日	時間	受講定員
1	東京都千代田区丸の内3-1-1 (社)日本倶楽部国際ビル8階大会議室	23.10.22	10～16:20	90
2	長崎市桜町9-6 長崎県勤労福祉会館	23.10.26	13～16:50	63
3	岡山市北区津島西坂1-4-18 岡山県勤労福祉事業会館	23.10.27	13～16:50	90
4	静岡市葵区黒金町5-1 静岡労政会館	23.10.28	13～16:50	60

詳細については、後日ホームページにてご案内します。

お問合せ先

〒110-0015 東京都台東区東上野1丁目21番4号
一般社団法人全国交通信号工事技術普及協会事務局
TEL:03-3835-1740 FAX:03-6675-4475
URL:<http://www.tscta.jp> E-mail:info@tscta.jp